

九州地方整備局におけるインフラDX

- 災害常襲地域の九州において、災害発生時の情報収集を含め、各種ICT機器を用いた遠隔臨場・情報収集等の技術を実装し、「非接触・リモート型の働き方」を推進。
- 3次元データの活用やBIM/CIM技術の本格導入、i-constructionの更なる推進など、新しい働き方に対応する受発注者双方の人材育成を行う「官民のインフラDX人材育成」を推進。

非接触・リモート型の働き方の推進

【九州地方整備局企画部】九州インフラDXルーム

■ICT機器を駆使した非接触・リモート型の推進

- 現場からの情報発信・本局・事務所等からの遠隔臨場を実施。
- VR体験。

【主な機能】

- ◆ スマートグラスによる現場からの情報発信
- ◆ 没入型ドームスクリーンを用いたVR・遠隔臨場、災害時の速やかな災害現場状況の共有
- ◆ リモートによる工事検査の試行 等



インフラDXルーム イメージ
(九州地方整備局本局6階)



没入型ドームスクリーン
によるVR・遠隔臨場



インフラDX人材育成センター イメージ
(九州技術事務所研修所)



3次元点群データの
取得・活用研修



野外フィールドにおけるICT建機・
遠隔操作訓練

官民のインフラDX人材育成の推進

【九州技術事務所】九州インフラDX人材育成センター

■受発注者双方のインフラDX人材育成の推進

- 3次元計測機器による測量やBIM/CIMの3次元モデルの操作に関する研修を実施。
- 無人化操作シミュレータによる遠隔操作技術やVRによる点検・維持管理に関する研修等を実施。

【主な機能】

- ◆ 3次元点群データの取得・活用研修
- ◆ ハイスペックPCを用いたBIM/CIM研修
- ◆ シミュレーターを用いたICT建機・遠隔操作訓練 等